

令和3年度 事業報告

[法人・北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎・グループホーム紅愛の運営]

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用者及び職員へ外出自粛、帰省、面会の自粛をお願いする中、焼肉パーティや忘年会、新年会を実施した。
- ・新型コロナウイルスが施設内で発生した場合を想定し、「社会福祉法人北海道博愛舎内の感染症対応」マニュアルを策定し緊急時の行動を確認しました。
- ・地域共生社会の実現の一助となるために実施している共同募金などは、施設職員が募金の呼びかけを行った。
- ・献血も年2回実施した。
- ・利用者の確保については、市町村や相談支援事業所等の連携を取りながら、利用希望者の情報収集や勧誘に努めているが定員割れが続いている。今後も施設運営の健全経営のために各関係機関と連携を行っていく。

[就労支援事業・利用者工賃実績]

- ・就労継続支援B型事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で作業量が減少したが、ほぼ毎日、就労の機会はあり、年間平均月額工賃45,000円以上となった。

[施設の改修]

- ・漏電不良のため浄化槽原水ポンプの交換工事を行った。
- ・老朽化によりガス事故防止のため、ガス設備集合装置の交換を行った。
- ・施設の老朽化に伴い、浴室混合栓交換工事、排水設備、漏水、雨漏り、屋外污水管柵取替等の修繕を行い環境整備を行ったが、いずれの工事でも小規模修繕範囲内で留まった。
- ・利用者の高齢化に伴い、パイプベッドから電動ベッドに入替え、快適な生活環境を整備した。
- ・北海道博愛舎居住棟の玄関ドア錠をナンバー式開錠に改修工事を行い、利便性の向上と防犯対策に整備した。

[北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎 利用者の状況と対応]

- ・両施設の利用者の高齢化、障害の重度化が顕著となっている。
- ・利用者がコロナ禍で自粛願う中、施設内行事の実施を行った。
- ・市町村や相談支援事業等の連携を取りながら、利用希望者の情報収集や勧誘に努めている。
- ・今年度北海道博愛舎は、新規入所者1名、通所1名、退所2名、ニュー北海道博愛舎は入所1名、退所2名で定員割れが続いているが、コロナ禍で外泊する利用者が減少したことと、利用者の高齢化に伴い、障害支援区分が高くなったことも影響し前年と比較して収入が増額した。

[行事实施状況]

年月	行事内容
R3 6月	ホリより菓子等の寄附 日赤献血
7月	夕張市農協青年部メロン贈呈 新型コロナワクチン接種1回目、2回目
8月	ジンギスカンパーティー 定期健康診断
10月	衆議院選挙期日前投票 日赤献血
11月	インフルエンザワクチン接種 避難訓練
12月	利用者食事会（忘年会） 歳末助け合い募金・赤い羽根募金
R3 1月	利用者新年会
2月	定期健康診断 新型コロナワクチン接種3回目
3月	避難訓練
その他	毎月第3水曜日 利用者誕生会 毎月第3・4日曜日 利用者理容日

[職員研修実施状況]

年月	研修内容	参加数
R3 8月	サービス管理責任者研修（基礎）（リモート）	1名
9月	南空知就労系事業所連絡協議会（リモート）	1名
10月	危険物従事者保安講習 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第14条第2項に規定する講習 相談支援従事者研修（リモート）	1名 1名 1名
11月	安全運転管理者講習会 クリーニング師研修及びクリーニング業務従事者講習	1名 1名
12月	南空知地区障がい者雇用支援地域合同会議（リモート）	1名
R4 1月	メンタルヘルス研修（リモート）	1名
2月	身体障害者福祉施設職員研修会	希望者